

【地域の概要】

- 大平賀は富加町西部に位置し、本郷・長峰・町屋・老梅の地区に分かれている。
- 大平賀の耕地面積は57.3haで、人・農地プランは令和4年1月に更新している。
- 大平賀の北部に位置する老梅地区は、津保川と山林の間に位置し、農業振興地域内の水田が多くを占め、県道沿いに住宅が存在する。

①取組開始前の状況や課題

課題

- 土地所有者の高齢化や相続等により管理者が不在となり、作付けが行いにくい山沿いの農地の荒廃化が見受けられる。
- 米価の下落が進む中、中心経営体は機械のメンテナンス費用等の経費増大が経営を圧迫している。

集約化の方針

- 今後3年をめどに町内外からの入り作も視野に入れた組織化により、地区全体の集約化を目指したい。



老梅地区の様子

②取組内容

独自の農地意向アンケートの実施（令和4年6月）

- 地区の農業委員、老梅農地維持の会、土地改良区の連名で、農家及び農地所有者向けに今後の利用意向についてアンケートを実施
対象農家数：30（うち回答数：30 回答率100%）

結果報告会及び話合いの実施（令和4年9月）

- 農業委員、農地維持の会、土地改良区、町、JA中央会が出席し、アンケートの結果報告を実施
農地利用意向：自作継続8人、現在の耕作依頼を継続11人、貸したい10人
貸したい農地：約1ha（うちすぐに貸したい0.5ha）
- 集落ぐるみで耕作継続も検討方法し、集落営農の立上げについて実例を紹介
- 耕作地の集約は農地中間管理事業を活用する方針とし、同事業について説明

③今後の展開と方向性

今後の方向性

- 今後2～3年は現在の体制で耕作を続けられるが、いずれは集落営農で農地を守っていかなければならない。
- 貸し借りの利用調整ができた農地については、農地中間管理事業を利用して集約を行う。

農地意向アンケート

農地意向アンケート

令和4年6月30日

農家および地主の皆様へ

富加町農業委員会 大平賀地区 足立耕三
老梅農地維持の会 足立耕三
老梅土地改良区 足立明久

農業委員会では、農地所有者の方が農地を耕作できなくなる前に、耕作できる方や認定農業者(担い手)に、農地を貸し付ける取り組みを進めています。つきましては、所有される農地の今後の利用意向について下
郷・各町について回答に御協力くださいますようお願いいたします。

令和5年度から法人とみかさんがこの地区から撤収されます。また農業者も

高齢者が増えてますます耕作者が減るのが現状です。今後について

各自の土地の在り方を考えないといけない時期かと思われます

ご協力お願いいたします 回答につきましては、7月17日までに

各地域の担当(水利委員)さんまでに提出お願いいたします

令和 年 月 日

住所

氏名

電話

問1 現在所有する農地は誰が耕作していますか(○をつけて下さい)

1 自作(所有者・後継者・世帯員) ②耕作依頼(親戚・知人) ③耕作していない

④その他()

問2 現在所有する農地を今後どのように耕作(管理)しますか(○をつけて下さい)

①自作の継続 ②現在の耕作依頼を継続 ③貸したい(全部・一部) ④今は分からない

問3 問2で③(貸したい)と回答した方は、その農地ごとに貸したい時期を記入下さい

土地の所在	登記地目(田・畑)	面積(m ²)	※貸したい時期
<記入例> 富加町大平賀字〇〇1-1	田	1,000	②

※貸したい時期は、下記から選択してください

①すぐに ②1年から3年以内に ③3年以上先に ④今は分からない

裏面に続く

問4 農地を借り受け、規模拡大したい場合は記入下さい

借り受けたい地区	※借り受けたい時期	借り受けたい地目(田・畑)	希望面積

※ 借り受けたい時期は、下記から選択してください

①すぐに ②1年以内に ③1年から3年以内に ④3年～5年以内に ⑤5年以上先 ⑥分からない

ご協力いただきありがとうございました。

記入いただいた個人情報、回答は富加町農業委員会の農地利用調整業務以外には使用いたしません。

富加町農業委員会 農業委員・農地利用最適化推進委員	
事務局	役場産業課
電話番号	0574-54-2113
担当	中村